



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2026. 9. 2 号

文責 岸本

実り多き2学期に向けて

「おはようございます！」と次々に元気な声で挨拶をし、教室へ向かっていく生徒たち。長い夏休みが終わり、昨日から2学期が始まりました。静かだった校舎に生徒たちの元気な声が戻り、学校に活気があふれています。夏休み中、熊本

 の地震や千葉・富山・石川・福井県の大雨といった自然災害のニュースが飛び込んできましたが、本校では大きな事故やけがの報告もなく、無事に新学期を迎えられたことを大変うれしく思います。

さて、2学期は1年間で最も長い学期であり、生徒一人一人が大きく成長する時期です。10月の合唱コンクールをはじめ、様々な学校行事や学習活動が予定されています。仲間とともに目標に向かって取り組む経験は、教室での学習だけでは得ることのできない大切な学びとなります。成功も失敗も含めて、自ら考え、自らの言葉で伝えて行動し、他者と協働しながら課題を解決していく力を身に付けながら成長していくことができるよう、そして、2学期の様々な活動が、その力を育む機会となるよう教職員一丸となってサポートしていきます。

また、3年生にとっては進路選択に向けた重要な時期となります。不安や迷いを感じることもありますが、自分自身を信じ、仲間や先生方、家族の支えを力に変えて、一歩ずつ前進してほしいと思います。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2学期も学校と家庭が連携しながら、生徒一人一人の成長を支えてまいりたいと考えております。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

2学期は「考動力」を身に付けよう！

今日からいよいよ2学期が始まります。大きな事故やけがもなく、元気にこの日を迎えられたことをうれしく思います。

今年の夏は、県中総体での男子バドミントン部優勝や男子空手道部準優勝、陸上の上位入賞、吹奏楽部の優秀賞など、多くの生徒が「底力」を発揮してくれました。

2学期は合唱コンクールや駅伝大会などの行事が控えています。行事に全力で取り組むと同時に、さらなる「学力向上」を目指しましょう。日々の授業と家庭学習を大切に、自分の可能性を広げてください。ここで、全校生徒に意識してほしいキーワードは「考動力（自分で考え、判断し、行動する力）」です。

3年生：義務教育残り約6か月。進路実現に向け今を大切に、最後の学校行事を通じて後輩へ伝統を引き継ぎ、最高学年として学校をリードしてください。

2年生：学校の中心となる時期です。「少しくらい大丈夫」という気持ちを捨て、学習に向き合い、新しいリーダーとして自覚と責任を持って行動してください。

1年生：授業や家庭学習に集中し、学力を高めましょう。相手を思いやる心を持ち、さまざまなことに積極的に挑戦してください。

生活の中では自分を律し、何が正しいかを考え、判断し、行動することが大切です。行事や学習に「本気」と「全力」で取り組み、2学期の終わりに「成長できた」と胸を張れる充実した学期にしましょう。



ワンチームで挑む2学期

1年生代表

長い夏休みが明け、今日からいよいよ新学期がスタートします。皆さんはどのような夏休みを過ごしたでしょうか？ 家族と旅行や帰省を楽しんだ人、友達と全力で遊んだ人、あるいは、部活動や勉強に打ち込んだ人と、それぞれが充実した時間を過ごしたことになると思います。私は実力テストに向けて苦手教科の克服から、得意分野の学び直しまで、一から勉強に取り組みました。



さて、今日から始まる2学期に向けて、皆さんはどのような目標を立てたでしょうか？ 1年生は1学期の課題として、メリハリがついていないことや時間の切り替えがうまくできていないことがありました。2学期ではこの課題をなくすために意識して生活していきましょう。

2学期にはクラスが一丸となって挑む大きな行事である合唱コンクールが控えています。私たちのクラスは、1学期の体育大会では思うような結果を残せず悔しい思いをしました。だからこそ、その時の失敗や経験を力に変え、今回の合唱コンクールでは優勝を勝ち取りたいと考えています。

しかし、クラスのみんなの歌声を一つに響かせ、聴いている人の心を掴む演奏を届けるためには、ただ技術を磨くだけでは足りません。最も大切なのは、日頃の関わりや練習の中での「思いやりのある行動」です。練習を重ねる中では、音程やリズムが揃わなかったり、互いの意見がぶつかり合ったりすることもあるでしょう。そんな時こそ、相手を責めるのではなく、「今の声良かったよ」「ここを一緒に練習してみよう」と温かい言葉を掛け合ったり、悩んでいる友達に優しく寄り添ったりすることが大切です。合唱は、自分の声を強調するのではなく、周りの声に耳を傾け、支え合うことで初めて美しいハーモニーとなります。

心機一転、お互いに気づかい合えるワンチームとなり、思いやりの心で一つになった歌声を響かせましょう。

2学期へ向けて

2年生代表

長かった夏休みが明け、今日からいよいよ2学期が始まります。皆さんはどんな夏休みを過ごしたでしょうか？ きっと、それぞれが次のステップへ向けての準備を整えた期間だったことと思います。



2学期を迎えるにあたり、私たち2年生は、学校全体を中心となって引っ張っていく存在になれるように、学年目標である「つながる」を意識してがんばっていきたいと考えています。そこで、次の三つの目標を掲げます。

一つ目は、日常の平和を大切にし、人の痛みがわかる心を育てていきたいです。

「平和は山里から、日常の平和から」。

平和は決して遠い世界の話ではなく、私たちの身近な日々の暮らしの中にあります。そして、その平和の原点は、人の痛みが分かる心を持つことです。友達の気持ちに気づき、相手の立場になって考えたり、寄り添ったりすること。そうした小さな優しさの積み重ねが、日々の平和をつくっていくと考えます。

二つ目は、合唱コンクールを通して仲間とつながることです。一人一人が協力し、歌声を響かせ、心を通わせることが大切になります。練習を重ねる中で、時には意見がぶつかることもあるかもしれませんが、しかし、そんな時こそ「つながる」ことを意識し、互いに認め合う心をもって、クラスの絆を深めていきましょう。

三つ目は、生徒会選挙に向けて学校の中心となっていく自覚をもつことです。2学期には、学校の未来を決める生徒会選挙があります。これは、私たち2年生が3年生の先輩方からバトンを受け継ぎ、学校を引っ張っていく存在になることを意味しています。先輩方が築き上げてくださった伝統を受け継ぎながら、学校をよりよくするために自分たちにできることを考え、責任をもって行動していききたいです。

1年生のお手本となり、3年生の先輩方に安心して未来を託していただけるようにがんばっていきましょう。

早く行きたければひとりで行け、遠くへ行きたければみんなで行け

3年生代表

「早く行きたければひとりで行け、遠くへ行きたければみんなで行け」。この言葉を知っているでしょうか。この言葉はアフリカのことわざで、政治家の演説や企業の経営などでよく使われる言葉です。この言葉について、1学期の学校生活と重ねて考えてみました。

私たちの4月は「サザエさんファイターズ」の人たちから始まりました。大勢の人の前でダンスを踊る姿、誰かのために行動する勇氣。それは見ている人にとって、『Try』することはカッコいいという印象を与えました。その姿に影響されて、「自分から挑戦してみたい」と、生徒集会ではガリガリ君ダンスを踊った人たちもいました。特に体育大会では、最高学年として引っ張るリーダーに数多くの人が立候補し、山里中学校を前に進めることができたと思っています。このように、いざというときに「Try」できる人が多くなり、3年生として成長した1学期でした。



しかし、生徒会が思いを込めた「Try」には、「大きな挑戦」という意味だけを込めているではありません。「授業で積極的に発表してみる」「先生や友達に大きな声であいさつをする」「2分前着席をし続ける」「自学を毎日出す」。このような日常の小さなことも立派な「Try」だと思います。

私たちの1学期の課題は、大きな挑戦ができなかったということではなく、「小さな日常にTryする」ことができなかったことでした。

「早く行きたければひとりで行け。」

ひとりで行動したら誰かに合わせる必要がないため、早く行動することができる、ということでしょう。しかし、この言葉は、ひとりの力では早くたどり着けても、長く続けることはできない、という解釈もできます。

「遠くへ行きたければみんなで行け。」

これは、困難なことや大きな目標は集団で立ち向かうことで、結果としてひとりよりもはるかに遠く、高いゴールに到達できる、という意味でしょう。

例えば、いよいよ現実味を帯びてきた受験。もちろん、自分自身が勉強を頑張り抜くことは大事です。しかし、昼休みに勉強をする人が今後出てきたとき、「一緒に自分も勉強しよう！」とその頑張る輪を広げる集団と、「自分さえ楽しければいい」と周りに配慮をせずに遊び回っている集団とでは、どちらが最後まで受験に立ち向かえる集団でしょうか。どちらがより「遠く」の「高い」場所にたどり着けるでしょうか。

このまま7か月が過ぎ、卒業式を迎える頃、3年生の集団として、私たちは今の集団に誇りをもてるでしょうか。私は「もっと良い学年にしたい」と思っています。そのためには、181名全員が、「積極的に発表する」「大きな返事をする」といった「小さな日常にTry」し続けながら2学期を過ごしていくこと。そんな一人一人の小さな行動の積み重ねが、この3年生の集団を「遠く」に連れて行ってくれると信じています。

いよいよ3年生も折り返す2学期。全員で「小さな日常にTry」し、3年生としての集団の力を高めていく学期にしていきたいと思います。

襻をつなぐ、思いをつなぐ 市中総体駅伝大会

10月1日（木）、かきどまり陸上競技場で行われる市中総体駅伝大会に、本校の代表として出場する選手たちが日々熱心に練習に励んでいます。

駅伝は、一人一人の力だけでなく、仲間への思いや信頼、そして襻（たすき）に込めた願いをつなぐ競技です。暑い日も、さらに暑い日も、自分自身と向き合いながら努力を積み重ねてきた選手たちは、すでに本

校の誇りです。

保護者の皆様には、日頃より選手たちへの温かい励ましや健康管理など、多大なるご支援をいただきありがとうございます。子どもたちは、家庭での支えを力に変えながら練習に取り組んでいます。

大会当日は、これまでの練習の成果を存分に発揮し、最後まで粘り強く走り抜いてくれることを期待しています。結果も大切ですが、仲間と支え合いながら精一杯挑戦する姿こそが、何よりも価値あるものです。選手の皆さんには自信をもってスタートラインに立ち、一緒に練習した仲間の思いと、山里中学校の伝統と思いが引き継がれてきた襷を、ぜひ未来へとつないでほしいと思います。

選手一人一人の力走と、チーム一丸となって襷をつなぐ姿に、ぜひご期待ください。生徒の皆さん、保護者の皆様の応援が大きな力となります。あとひと月、どうぞ応援をよろしくお願いします。



一人ひとりの声が輝く みんなで創る感動の舞台 合唱コンクール

10月7日（水）ブリックホールにて合唱コンクールが行われます。

合唱コンクールは、ただ歌の上手さを競う行事ではありません。一人一人が仲間の声を聴き、自分の役割を果たしながら、一つの音楽を創り上げる大切な機会です。

最初は音程が合わなかったり、意見がぶつかったりすることもあるでしょう。しかし、その一つ一つを乗り越えていくことこそが、学級の成長につながります。

練習では、ぜひ次の三つを意識してください。

仲間の声をよく聴くこと

合唱は一人では完成しません。自分の声だけでなく、周りの仲間の声に耳を傾けることで、調和のとれた美しいハーモニーが生まれます。

最後まであきらめないこと

本番直前まで歌声は変わります。少しずつの努力の積み重ねが、大きな成果につながります。

感謝の気持ちを持つこと

指導して下さる先生方、伴奏者や指揮者、そして共に練習する仲間への感謝を忘れないようにしてください。その気持ちは必ず歌声に表れます。

本番では、賞の結果だけにとらわれず、「このクラスで頑張ったよかった」と思える発表を目指してください。特に3年生の皆さん、この学校を卒業して何年か後に行われる同窓会で、肩を組みながら歌う自由曲は最高です。何度も何度も練習し、ぜひ自分たちの歌を創り上げてください。

皆さんの歌声には、聴く人の心を動かす力があります。仲間と心をつなげて、最高のステージを創り上げてくれることを期待しています。

その努力が、かけがえのない財産となるはずです。

※この文章を基に、生成 AI にイラストを描いてもらいました。

